

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		入札参加資格者管理事業				②事業番号		2402	
③事業類型		6. 内部管理事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
						年度		○ 設定なし	
⑥根拠法令等		○ 法令		○ 条例		○ 規則		○ 要綱	
⑦実施手法		○ 直営		○ 全部委託		○ 一部委託		○ 補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		2		項		1	
⑨担当部名		総務部		⑩担当課名		契約検査課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1) 対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 入札等参加を希望する者		① 申請者数		社	
②		②			
(2) 事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
市が発注する際の有資格者について、市が作成した入札等参加申請要領に基づき、期間を定めて参加申請を受付し、また随時変更申請を受付する。		① 入札等参加資格審査申請		件	
		② 入札等参加資格変更届		件	
		③			
(3) 意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
申請時において必要書類の審査を行い適正な有資格者の登録を行う。		① 入札等参加資格登録数		社	
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4) 結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
入札等参加申請時に予め審査し、登録整理することにより、適正に入札参加者を選定することができ、効率的な入札事務を行うことができることで、健全な財政運営が図られる。		政策(章)		6 みんなでまちづくりに取り組むまち	
		施策大(節)		3 将来にわたって安定した行政サービスが提供できるよう、計画的で健全な財政運営をおこなうまちをめざします	
		施策中		1 財政運営の強化	
		施策小		2 持続可能な財政運営	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	申請者数	社	2,683	2,646	2,619	2,616	—	
対象指標②								
活動指標①	入札等参加資格審査申請	件	1,195	861	873	1,238	—	
活動指標②	入札等参加資格変更届	件	794	738	792	—	—	
活動指標③								
成果指標①	入札等参加資格登録数	社	2,683	2,646	2,619	2,616	—	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	1.00	1.00	1.00	1.00		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.12	0.12	0.17	0.17		
	臨時職員	人	0.12	0.12	0.17	0.17		
	事業費	千円	8,307	7,912	7,937	7,937		
財源内訳	人件費(投入人員*単価)	千円	1,155	1,408	1,395	1,437		—
	直接事業費	千円	9,462	9,320	9,332	9,374		
	総事業費	千円	0	0	0	0		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	受益者負担金	千円	0	0	0	0		—
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	9,462	9,320	9,332	9,374		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	地方自治法による。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の施行により、不良不適格業者の排除に努め、また、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の施行により、暴力団等の介入の排除に努めることとなった。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)				[1]の評価	A
評価項目		評価及び理由・説明等			
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)		ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	適正な履行の確保のため、適正な入札参加資格を有する者でなければならない。		

[2]有効性				[2]の評価	A
評価項目		評価及び理由・説明等			
②期待どおりの成果が得られていますか。		ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	不良不適格者を排除することで、適正な履行の確保に繋がる。		
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)		ア. ある イ. ない	電子申請・新規登録の随時受付などが考えられる。ただし、コストが増加する。		
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。		ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—		

[3]効率性				[3]の評価	B
評価項目		評価及び理由・説明等			
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)		ア. ある イ. ない	近隣市町と入札参加資格者管理の一元化が考えられる。		

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	—	

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ ア ア. 現状のまま継続 ↓ イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)			
＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)			
①改革、改善の具体案、実施年度など	—		
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—		